

鎌倉のごみ減量をすすめる会
第13回 全体会・令和2年度第1回 運営委員会 議事概要

日 時 令和2年11月18日（水）午後2時から午後3時30分まで
場 所 鎌倉市役所本庁舎4階 402会議室
出席者 会 員 登録者名簿のとおり（小島氏、林氏は欠席）
鎌倉市 環境部 能條環境部長
ごみ減量対策課 不破担当課長、鋤柄担当課長
（事務局）石井環境指導監、藤田担当係長、松崎担当係長、奥村職員

議 題

1 全体会

(1) 令和2年度の代表、副代表の選任及び事務局の選任について

(2) 議事

ア 昨年度の活動経過報告及び今年度活動計画について

イ その他

【配布資料】

1. 令和元年度活動報告（案）
2. 令和2年度活動計画（案）
3. ごみ収集量の状況について（実績値）

2 運営委員会

(1) 潜水調査について

(2) クジラの模型について

(3) その他

【配布資料】

1. 生態系破壊の疑似体験プログラム

会合の概要

出席者は8名、1名から委任状の提出がありました。会員の2分の1以上の出席により全体会が成立することが確認されました。

議題1 全体会

(1) 令和2年度の代表、副代表の選任及び事務局の選任について

昨年度末提出されたエントリーシートの結果、代表については臼田様に6名の方から推薦があり、会員等の互選によって代表に選出され、本人の了承を得ました。

副代表については、岩田様に4名の方から推薦があり、会員等の互選によって代

表に選出され、本人の了承を得ました。

また、会員等により選出する事務局については、水瀬様が選出され、本人の了承を得ました。

(2) 議事

ア 昨年度の活動経過報告及び今年度活動計画について

角田会員から、資料「令和元年度活動報告（案）」のとおり、活動実績について説明がありました。

岩田副代表から、資料「令和2年度活動計画（案）」のとおり、活動計画について説明がありました。

令和元年度活動報告（案）及び令和2年度活動計画（案）について意見等はなく、承認されました。

イ その他

石井環境指導監から、資料①「ごみの収集量の状況について（実績値）」のとおり、新型コロナウイルスの影響も踏まえた家庭系及び事業系のごみの収集量の状況について報告を行いました。

その他の報告や意見等は次のとおりでした。

水瀬会員：コロナの影響でごみの中身が変わっていることと、7月1日からレジ袋有料化が始まったので、エコスポットの内容を少し変えたいと思います。市から、エコスポット店に全体会が開催された旨の報告をしてもらいたいです。

臼田代表：事務局の方で対応をお願いします。

渡辺会員：本会の活動と被る部分があるかもしれませんが、プラごみゼロ宣言が出されて2年が経つということで、パタゴニア独自で3月に給水機を設置し、コロナの影響で8月27日から運用を始めました。9月からカウントを取り、500mlのペットボトル換算で72本分の削減、CO2の削減値では約8.3kgになりました。

無印良品の松本店長と情報交換をして、コロナ禍で安全面に配慮して運用しています。

歯科医院の院長が給水機を見て感動され、同じものを患者さんのために入れたいとおっしゃったので、パタゴニアが仲介しました。水道管直結ですので、工事費はかかりますが、レンタル費は安いです。

お持ち帰り袋については、100円のデポジット袋を使用し、またお持ちいただく回収するサーキュラーシステムを採用していましたが、8月27日より全店で回収を行い、マイバッグの持参をお願いしています。

また、一般社団法人ゼロ・ウェイスト・ジャパンが運営するアパレルのゼロ・ウェイスト認証を今年10月に取得しました。全部で9項目あり、それを全て満たす必要はありませんが、ある程度の基準を満たすと認証を取得できます。例えばお店

の運営に必要な備品などを調達する際に基準を満たしているか、働いているスタッフをゼロ・ウェイスト・ワーカーと言いますが、そのスタッフ自身がごみの減量に取り組んでいるか、取り扱う製品自体に耐久性があって、かつリサイクルできるかなどです。「ACT with YOU」は、来店する人に啓発を行っているかという項目です。市内の事業者への啓発の際にモデル事業として活用していただければと思います。ノウハウの面などお伝えできると思いますので、今後の鎌倉市の施策に活用していただけるものと考えています。

臼田代表：以上で全体会を終了します。

議題2 運営委員会

(1) 潜水調査について

潜水調査については了承され、運営委員会での報告や意見等は次のとおりでした。

臼田代表：令和2年度活動計画（案）をご覧ください。

会員拡大をコロナ禍でどうするかについてご意見をお願いします。

水瀬会員：個人事業者は運営自体が大変なので配慮しながら行った方が良いと感じます。

個人会員についてはステイホームで生活や人生を考える機会になったという方も多いと思いますので、その様な方達を中心に会員を増やしていきたいです。

臼田代表：ツールは何かありますか。

水瀬会員：チラシがありました。オンラインで啓発や勧誘を行うのはどうでしょうか。

広報掲載も検討していただきたいです。

臼田代表：プラごみゼロ宣言への協力についてのステッカーですが、私も店をやっていますが、いくつもステッカーを貼りたくありません。何か良い方法はありますか。

藤田担当係長：私は事業系ごみを担当し、食品リサイクルを事業者さんにお勧めして燃やすごみを減らす取組をしています。食品店についても食品ロスを減らすため、少量メニューなどの取組をお願いしています。食品ロス削減に関する法律の制定により、報道もされて皆さん関心を持っています。今年度食品ロスのステッカーとチラシ・ポスターを作成する予算を組みました。ステッカーに市の象徴である「ささりんどう」を配して食品ロス削減をアピールする案があります。これから要綱を制定して図案を確定して発注するため、現時点が今年度の予算執行できるぎりぎりの時期になります。

水瀬会員：予算はいくらですか。期限はいつまでですか。

臼田代表：何枚作れそうですか。

藤田担当係長：50万円弱の予算です。配色によって値段が変わります。チラシ・ポスター・ステッカーの枚数配分にもよります。今回対象としているのは飲食店です。2,200社のうち半分程度が飲食関係と考えています。食品卸業者にもフードバンクを案内しています。広い対象で食品関係に配り、市民にも関心を持ってもらいたいと考えて

います。本会で決まっている案があれば、融合することも可能です。

臼田代表：鎌倉市のマークの隣のカラーのマークは何ですか。

藤田担当係長：SDG s のマークです。

水瀬会員：フラットカフェ、フードロスの活動をしています。クラウドファンディングを行い、資金が集まりました。ステッカーを配っても、貼ってくれる店がどれほどかわかりません。予算を使っても貼ってもらえなければ意味がありません。

藤田担当係長：全ての店に配るわけではなく、申請書を提出してもらい、きちんと審査したうえでステッカーを渡します。

水瀬会員：フードロスに関する意識付けができないと無駄になります。私は飲食店でも働いています。4項目目に食べ残しを減らすための案内と書いてありますが、お店からどう案内すれば良いのか疑問です。

藤田担当係長：このうち一つでも行っていれば協力店として認定します。

水瀬会員：「当店では食べ残しを減らす取り組みをしています」という文言が入っていますが、これは入りますか。

藤田担当係長：入れる予定です。例えば物品販売などもありますので、もう少し詰めていきます。

水瀬会員：お客様目線では、お店側が残さないでとは言えませんし、言ったとしても良い印象になりません。

藤田担当係長：ご意見をいただければ有難いです。

水瀬会員：フラットカフェや推進員など生ごみ発生に関与する方々に協力していただいたら良いと思います。フラットカフェでも予算が使えるはずです。期限を伝えてください。

藤田担当係長：調整してお話を聞かせていただきます。

臼田代表：予算執行は来年までですか。

藤田担当係長：来年3月までです。早めにお話を聞きたいと思います。

岩田副代表：クラウドファンディングの記者会見の時に同席したのは生活福祉課でしたね。今後はフラットカフェと環境部と一緒にできると良いですね。母子家庭などがコロナの影響で食料品の調達に困っていると聞いています。福祉とも連携すると良いと思います。次年度は連携して色々できると良いですね。

水瀬会員：本会のステッカーと一緒にすることはできますか。環境をテーマにして、その中にフードロス・生ごみ削減を盛り込むというようなことです。

藤田担当係長：素案はできていますか。

水瀬会員：1つか2つ出ていました。総合的なことは考慮していませんが、1枚にまとめれば費用も削減できると思います。取り組んでいる方は両方のテーマに取り組んでいると思います。

藤田担当係長：終了後にお話しさせてください。

臼田代表：忌憚のない意見を言うと、鎌倉市が強すぎると感じます。

水瀬会員：他市でキャラクターなどを使用しています。

藤田担当係長：キャラクターを使わずシンプルな案にしました。

水瀬会員：お店が貼りたいと思うようなものにした方が良いでしょう。

白田代表：貼ることでお店のステータスになると良いでしょう。

岩田副代表：潜水調査に関しては、具体的に進めています。これは本会として一番先にやりたいことです。11月29日（日）を予定しています。11月25日（水）にもう一度漁業組合組合長とダイバーの方と私で打ち合わせをします。29日の天候が不順の場合は予備日を12月6日（日）としています。映像はその際に撮影できますが、それを今後どう活かすかはコロナの状況を見ながらになります。鎌倉の海の状況を映像で見ることができますので、プラスチックごみの行方を探る資料になると思っています。

白田代表：よろしくをお願いします。分別の分類表はどうしますか。私自身も分別がわかり難いと感じています。

水瀬会員：わかり難いところをみんなで出し合って変えていけばよいと思います。

（2）クジラの模型について

クジラの模型については了承され、運営委員会での報告や意見等は次のとおりでした。

白田代表：クジラの模型についてです。秒速3mで風は問題ありませんでした。お腹の部分を布で作ることを考えていましたが、ブルーシートの方がよいと思います。車一台で搬入・搬出ができますので、いつでも貸し出せます。正面は90cm×180cmの板が左右に蝶番で2つに分かれます。90cm四方のものが2つと考えるだけであれば良いと思います。近所の子供達には好評です。

岩田副代表：話が前後しますが、潜水調査の見学はOKですね。

角田会員：まだ詳しい時間がわかりません。

岩田副代表：詳しい時間がわかりましたらご連絡します。見学希望の方はそれに合わせてお越しください。

角田会員：坂ノ下の漁港からスタートして水中スクーターで移動しますので、到着先で待っていた方が良いでしょう。

岩田副代表：詳細は追ってご連絡します。

白田代表：よろしくをお願いします。以上で運営委員会を終了します。

（3）その他

特になし。